

平成21年度「夏休みセミのぬけがら調査」結果報告

船橋市環境保全課

1、目的

夏の代表的な昆虫であるセミ（のぬけがら）を調べることにより、身近な自然への関心を深め、自然環境保全思想の醸成を図る。

2、概要

(1) 入門コース

- ① 調査場所 県立行田公園 東側
日時 平成21年8月6日（木）9時30分～15時
参加者 10組 22名
講師 7名

- ② 調査場所 アンデルセン公園
予定日時 平成21年8月11日（火）9時30分～15時
※台風9号接近による荒天のため中止となった。

(2) 実践コース

- ③ 調査場所 県立行田公園 西側
日時 平成21年8月22日（土）9時00分～15時
参加者 22組 40名
講師 11名

※ スケジュール

- 9:00 行田公園西側メイン広場にて受付、班分け
9:10 開会挨拶、講師紹介
9:20 調査手順の説明
9:30 調査場所へ移動後、採取開始
10:30 会場（行田団地集会所）へ移動
分類方法の説明・分類
12:00 昼食
13:00 分類続き
結果のまとめ作業
13:30 班ごとの発表・講師による総評
14:00 終了・解散
15:00 講師・事務方解散

3、結果及び評価

1) 結果

- ・ 調査場所 県立行田公園 東側
総数は3,406個。①アブラゼミが2,880個、②ミンミンゼミが338個、③ニイニイゼミ118個、④ツクツクボウシ16個、⑤ヒグラシ1個、不明が53個であった。

・ 調査場所 県立行田公園 西側

総数は4,995個。①アブラゼミが3,438個、②ミンミンゼミが667個、③ニイニイゼミ11個、④ツクツクボウシ72個、不明が807個であった。

※ 班別調査結果 (行田公園西側)

		1班	2班	3班	4班	5班	合計	割合(%)	
アブラゼミ	オス	525	198	401	277	316	1717	3438	68.8
	メス	696	195	401	208	221	1721		
ミンミンゼミ	オス	60	93	32	66	88	339	667	13.4
	メス	71	107	23	66	61	328		
ニイニイゼミ	オス	0	1	3	0	2	6	11	0.2
	メス	1	2	0	2	0	5		
ツクツクボウシ	オス	9	5	6	11	6	37	72	1.4
	メス	10	4	5	11	5	35		
ヒグラシ	オス	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	メス	0	0	0	0	0	0		
クマゼミ	オス	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	メス	0	0	0	0	0	0		
不明		11	360	157	220	59	807		16.2
合計		1383	965	1028	861	758	4995		100

通年調査結果 (行田公園西側)

	アブラゼミ	ミンミンゼミ	ニイニイゼミ	ツクツクボウシ	ヒグラシ	クマゼミ	不明	合計
H12	2990	681	19	45	3	1	0	3739
割合(%)	80.0	18.2	0.5	1.2	0.1	0.0	0.0	100
H16	2283	445	0	13	6	0	910	3657
割合(%)	62.4	12.2	0.0	0.4	0.2	0.0	24.9	100.0
H17	4278	917	9	47	1	0	991	6243
割合(%)	68.5	14.7	0.1	0.8	0.0	0.0	15.9	100.0
H18	1854	826	5	38	4	0	176	2903
割合(%)	63.9	28.5	0.2	1.3	0.1	0.0	6.1	100.0
H19	3935	606	9	36	1	0	1321	5908
割合(%)	66.6	10.3	0.2	0.6	0.0	0.0	22.4	100.0
H20	3617	1087	23	20	4	0	141	4892
割合(%)	73.9	22.2	0.5	0.4	0.1	0.0	2.9	100.0
H21	3438	667	11	72	0	0	807	4995
割合(%)	68.8	13.4	0.2	1.4	0.0	0.0	16.2	100.0

2) 評価

入門コース・アンデルセン会場の開催が台風9号接近による荒天により中止になった。このため行田公園の西側・東側の2回の開催となった。

梅雨明けが遅く、8月に入ってからでも台風など天候不順だが、総数は少なくなかった。

入門コース・東側は、梅雨明けが遅かったせいか、盛りを過ぎたはずのニイニイゼミの抜け殻が多く採取できた。以前クマゼミのなき声を確認されたことがあるが、ぬけがらも鳴き声も確認をされなかった。範囲が広く樹木が多いため全ては調査しきれず、半分ほどの区域（東メイン広場から北側）で採取した。

実践コース・西側は、入門コース・アンデルセン公園中止もあり、殆どが初めての参加者だった。総数はほぼ例年通りだが、ヒグラシが採取できなかったため、アブラゼミ、ミンミンゼミ、ツクツクボウシ、ニイニイゼミの4種類を採取した。例年にくらべツクツクボウシが多く、倍くらい採取した。また触覚がとれたり、判別できないものが多かった。



一枚にいっぱいついてます



分類の様子



採取の様子





種類判別中



結果発表



総評